

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和5年4月4日(火)
担当課	教育事業部歴史文化財課 龍野歴史文化資料館
電話	0791-63-0907

報道機関各位

## 初公開資料多数！龍野歴史文化資料館ロビー展 「明治の音色を奏でる風琴～龍野で作られた池内オルガン～」

北龍野出身の池内甚三郎は、横浜で風琴(オルガン)作りを学び明治21年にオルガン製作をはじめ、明治39年に故郷龍野で東洋楽器製造株式会社を設立しました。現在、池内製オルガンは全国で約20台確認されています。

本展では、龍野城下の醸造家に伝わり、所蔵者により修理され演奏することができる明治時代の池内オルガン(現在当館に寄贈)などを展示します。

### 記

- 1 期間 4月29日(土)～6月25日(日)  
※休館日 月曜日、祝日の翌日、5月9日
- 2 展示概要
  - ・池内オルガン2台(うち1台のベビーオルガンは**初公開**)
  - ・東洋楽器オルガン2台(1台はテノール歌手畑儀文氏の所蔵で丹波篠山市の古民家で保管されていた。このたび当館に寄贈。すでに当館に寄贈されていたオルガンと併せて2台を**初公開**)
  - ・寺田楽器オルガン1台(**初公開**。龍野周辺で製作もしくは販売されたと思われるオルガン。)
  - ・龍野のオルガン製造者が奉納した絵馬(**初公開**)
  - ・三木操(露風)の葉書(**初出品**。大正14年7月29日付。)  
※開成館(現三木楽器・大阪市)宛て葉書。開成館が唱歌普及のため三木露風に作詩を依頼し、露風から原稿料(80円)のお礼の葉書
  - ・明治時代の龍野町絵図など約20点。展示オルガンは写真撮影可。
- 3 関連イベント (1) 文明開化を奏でる風琴演奏会  
日 時：5月21日(日)11時～16時  
演奏者：三浦轍司氏(教会オルガニスト)  
ストーリーテラー：寶山かおる氏(わくわくプロジェクト)  
【1回目】11時～11時30分「明治の音楽 風琴弾き語り」  
【2回目】13時～13時45分「龍野がオルガンに出会った日」  
【3回目】14時～14時30分「露風とオルガン」  
【4回目】15時30分～16時「あなたもオルガニストー演奏体験ー」  
※定員各20名(要事前申込、先着順)  
※国際博物館の日記念事業のため入館料無料

(2) ミュージアムトーク「西洋楽器と池内オルガン」

日 時：6月4日(日) 14時～15時

講 師：田中晴美氏(オルガン研究家)

参加費：無料(入館料は必要)

定 員：20名(要事前申込、先着順)

※揖保川公民館主催あいあい塾特別講座「池内甚三郎とオルガン製造」と連携事業。

(3) 子どもの日企画「GOGO ミュージアム」

日 時：5月5日(金・祝)10時～15時

内 容：鯉のぼり水引作品ワークショップ

対 象：小学生以上のお子様と保護者(参加費・入館料無料)

4 入 館 料 一般 200 円(150 円) 65 歳以上 100 円(一) 学生 100 円(60 円)

※( )内は20名以上の団体料金

※5月16日(火)～21日(日)は国際博物館の日記念事業のため入館料無料

5 参 考 ①歴史的背景

日本に西洋楽器が輸入され始めたのは明治時代。明治中頃には唱歌の普及と共に教育現場でリードオルガンの使用が始まり、国内産のオルガンが制作・販売されるようになります。

②池内甚三郎について

明治4年(1871)北龍野に生まれる。甚三郎が西洋楽器の製造を始めた経緯は伝わっていませんが、池内家は宮大工か指物大工をしていたそうです。甚三郎は横浜の西川寅吉(西川オルガン)のもとで学びオルガン製作を始めたと思われます。

③東洋楽器製造株式会社

明治39年(1906)に堀豊彦などにより北龍野に設立。西日本では西洋楽器を製造・販売する大手の会社であったが、経営はうまくいかなかったようで、明治42年に破産宣告したことが当時の新聞記事にあります。

④現在も幼稚園で使われている池内オルガン

日本で最も古い幼稚園の一つ愛珠幼稚園(大阪市)では、明治24年ごろに作られた池内オルガンが現在も使われています。



写真展示 津金学校(旧須玉歴史資料館)。山梨県北杜市に伝わる池内オルガン。TRADE MARK は江戸時代の龍野藩主脇坂家の家紋の輪違紋



龍野城下に伝わった池内オルガン(ベビーオルガン)

龍野で作られた池内オルガン

明治の音色を  
奏でる風琴



©2023 宰井琢勝

たつの市立龍野歴史文化資料館ロビー展  
令和5年4月29日(土) ▶ 6月25日(日)

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日、祝日の翌日、5月9日

入館料：一般 200円 / 65歳以上・学生100円

※ひょうごっ子ココロンカード提示で無料

※5月16日(火)～21日(日)は国際博物館の日記念事業のため入館料無料

問申  
合込  
せ先

たつの市立龍野歴史文化資料館

〒679-4179 兵庫県たつの市龍野町上霞城128-3

TEL: 0791-63-0907 FAX: 0791-63-0998 EMAIL: rekishi@city.tatsuno.lg.jp







日本に西洋楽器が輸入され始めた明治時代、キリスト教の普及に伴い教会でオルガンが演奏されるようになります。

明治中頃になると新しい唱歌の普及と共に教育現場でオルガンの使用が始まり、国内産の風琴（オルガン）が製作・販売されるようになりました。

横浜でオルガン作りを学んだ北龍野出身の池内甚三郎は明治二一年に大阪でオルガンを製作しており、それは全国でも先駆的な存在でした。

その後東洋楽器製造会社を北龍野で設立し、多くのオルガンを製作・販売。現在池内製のオルガンは約20台確認されており、

福島県や山梨県、長崎県に伝わっています。

また、龍野城下の醤油醸造家に伝わった池内製オルガン（現在当館に寄贈）は所蔵者により修理され演奏することができず。

明治時代の音色を今に伝える貴重な資料です。

#### 関連イベント

## 文明開花を奏でる風琴演奏会

5月21日(日)

演奏者：三浦轍司氏(教会オルガニスト) /  
ストーリーテラー：寶山かおる氏(わくわくプロジェクト)

- 1回目 11時～11時30分「明治の音楽 風琴弾き語り」
- 2回目 13時～13時45分「龍野がオルガンに出会った日」
- 3回目 14時～14時30分「露風とオルガン」
- 4回目 15時30分～16時「あなたもオルガニストー演奏体験ー」

\*事前申込必要。全て先着20名。

## ミュージアムトーク 「西洋楽器と池内オルガン」

6月4日(日)14時～15時

講師：田中晴美氏(オルガン研究家)

\*事前申込必要。先着20名。  
(入館料が必要です)

## GOGOミュージアム 「鯉のぼり水引作品づくり」

5月5日(祝・金)10時～15時

随時受付

対象：小学生以下のお子様と保護者。  
(参加費・入館料無料)

【申込み先】たつの市立龍野歴史文化資料館

※電話または電子申請でお申し込みください。

